

<2013・国際宝飾展>

今年の同展、来場者は初日から賑わい、俯き加減な昨年と雰囲気が違う。これがアベノミクスというものか。BIZのブースは銀色と若草色のいがいがドットにオレンジ色のアクリルペイントの壁面デザインを施しリズムカルで明るい演出。作品も金線蒔きとドット(水玉)を洗練かつ立体性を加えより進化した(つもり)のBIZを披露。

“顧客はもう従来の普通の商品には飽きている。この位置的な一点物は楽しくていい。”と時折の来場者の言葉に少しだけ安堵。



<バンコクジュエリーフェアー ～ほほえみの国タイ～>

急に決まったタイ行き。海外のフェアーは2年ぶり、と決心。フェアー会場ではひたすら歩く。面白い好みの石を探すのは勿論面白そうなものは何でも見たいという気持。デザインを見るといふより考え方を学ぶ感じ。

タイ行きの声をかけて下さった方の配慮が素晴らしく、観光ではないこの国の様々な面も見ること出来た。“ほほえみの国”では人々は眼があうと、合掌してほほ笑む。ほっとする安らぎ。優しい笑みに怒る人はいない。競争に勝つことばかりを強要されていると大切な事を忘れてしまう。

初めての土地で何かをしようとするとうわからないことばかり。日ごろ使わない言語は不通状態なので不安は増す。そんな状況で目的を遂行しようとする、この身の引き締まる緊張と不安も時にわが身に必要かもしれない。



俄かタイの女性

<シマダは機能不全者か>

日頃“シマダは肉体労働者”と言って憚らない。方向、機械、数字音痴他色々。その無能ぶりは十分自覚しているので常に細心の注意を払って物事を進める、つもりでいる。それでも度々ドン抜け。そして言う。“私は肉体労働者、あなた（スタッフ）は知的労働者”。言葉少なくスリムなそのスタイルに“もっと女らしい身体になれ”と毒づくシマダ。彼女曰く“シマダさんは生きていくのに必要なことを知らなくて、要らないことばかり知っている”。確かにその通りです。言っておきますが、彼女は淡々と悪意ではなく言うのです。

“ベートーベンにモーツァルトに師事を申し込むも断られる” “子のないベートーベンにグータラな甥を美言で讃えゲーテに就職以来。そして交響曲の一つを次々数社と契約（これは詐欺）”とこんな事を嬉々と話すものの何の糧になるのではないのは確か。世に不必要なことは楽しく、必要なことは難しくて混乱する頭。いつも物事に自信がもてない原因です。でも、あの楽聖ベートーベンの音楽と風貌を思うと、人間臭さがなんともほほえましいではありませんか。



3月下旬、小さな庭に咲きはじめた花達。大好きなアスパラも！



CPN-0165

ファイアオパール

ダイア 0.036ct K18YG

ラピスのネックレスにセットして



CN-0143

バロックパール（淡水） ルビー 23.24ct K18GP

タイで買っためずらしいカットのルビーで

◆春の甲府展 ～進化する水玉～

4/24(水)～4/28(日) 10:00～18:00 @ギャラリーBIZ